

子どもがつくる算数の複式ガイド学習 研究大会

1 算数研究の歴史

本校では、平成元年から30年以上、算数科教育を研究しています。複式学級では、1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生、それぞれ2つの学年が同じ教室で学習をします。別々の内容を学習しようとするとき、学級担任は一人で両方の学習を進めなければなりません。そこで、担任が一方の学年を見ている間も、子どもたちが自分たちで学習をすすめることを目指します。

2 子どもがつくるガイド学習

母子小学校では、子どもがつくる算数科学習の子どもの姿として次の3つのことを考えています。

- 自ら学習に主体的に関わっていく。
- 自分たちの学習を自分たちで創り上げる。
- 学習に対して、常に課題意識と見通しを持って取り組む。

そして、子どもがつくるガイド学習とは、まずひとり学習で学習の構えと見通しを持ちます。そして、ガイド学習の中のコミュニケーションつまり、おたずね等によって学習の深化をはかり、新たな学びへとつなげていきます。



低学年では、教師の支援のもと進めていたガイド学習も、高学年になると自分で進めることができるようになってきます。



他学年とも学ぼう!



休み時間に他学年の児童もやってきて1㎡の中へ...
こんな勉強をしてるんだね~



5年生の体積の学習です。
最後に1㎡を作ってみると...



こんなふうに計算するといいよ。
高学年が中学年にアドバイス。

3 校内研修会

市の内外を問わず、県外からも、たくさんの先生が本校の算数の学習を参観に来られます。母子小学校の子どもたちの算数の学習が広く注目されています。

① 第1回公開授業研修会(校内研修会) 5月23日(木)

学年	単元名	指導者
複式	3年	酒井 皓 野垣 佳代
	4年	
	一万をこえる数	
	垂直・平行と四角形	

【講師】 村岡 智行 校長先生(三田市立狭間小学校)

② 第2回公開授業研修会(校内研修会) 6月17日(月)

学年	単元名	指導者
単式	1年	武田 政幸 野垣 佳代
	2年	
複式	5年	細見 有美 野垣 佳代
	6年	
	ひきざん(1)	
	見方・考え方をふかめよう(1)	
	割合(1)	
	分数÷分数～割合を表す分数～	

【講師】 奈良女子大学附属小学校教諭 三井 栄治 先生

4 研究発表会

「子どもの深い学びを目指したつなぐ力の育成～子どもがつくる算数科学習を通して～」をテーマとして研究を進めてきました。その中で、ひとり学習、おたずね、つなぐ力について、校内研修会などを通じて研究を深めてきました。毎年9月下旬～10月上旬に研究発表会を行っています。市内はもとより県内各地から参観していただき、「母子の算数・複式ガイド学習」への関心の高さがうかがえます。昨年度は全国へきち地教育研究大会～兵庫大会～の会場校の一つとして研究発表を行い、全国各地の先生とも意見交流をすることができました。

また、兵庫県内の小規模で複式を持つ(これから持つ)小学校を訪問し、研修会において母子のガイド学習のすすめ方などの発信をしています。これらの交流を通して、これまで積み上げてきた母子の研究をさらに深めていきたいと考えています。

○母子小学校研究発表会 令和6年度三田市教育委員会指定 9月20日(金)

学年	単元名	指導者
複式	1年	武田 政幸
	2年	
複式	3年	酒井 皓 野垣 佳代
	4年	
複式	5年	細見 有美 野垣 佳代
	6年	
	3つのかずのけいさん	
	見方・考え方をふかめよう(2)	
	あまりのあるわり算 ～あまりを考えて～	
	式と計算の順じよ	
	面積	
	見方・考え方を深めよう(1)	

【講師】 奈良女子大学附属小学校教諭 三井 栄治 先生

